

Ⅲ 財務諸表（要約版）

1 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部	金 額	負債の部	金 額
固定資産	28,989	固定負債	33,119
有形固定資産	28,877	資産見返負債	402
無形固定資産	65	長期借入金	5,099
投資その他の資産	47	移行前地方債償還債務	21,561
流動資産	9,384	引当金	5,937
現金・預金	5,959	長期リース債務	120
未収金	3,374	流動負債	4,884
貸倒引当金	▲ 77	1年以内返済予定長期借入金	215
医薬品等	109	1年以内返済予定移行前地方債債務	1,882
その他	19	1年以内返済予定リース債務	197
		未払金	1,882
		賞与引当金	568
		その他	140
		負債合計	38,003
		純資産の部	金 額
		資本金	306
		利益剰余金	64
		純資産合計	370
資産合計	38,373	負債・純資産合計	38,373

2 損益計算書

（単位：百万円）

科 目	金 額	計 画	平成22年度
経常収益(A)	21,749	22,293	21,579
医業収益	15,784	16,342	15,459
介護老人保健施設収益	431	438	418
運営費負担金収益	5,100	5,100	5,280
その他経常収益	434	413	422
経常費用(B)	21,809	22,377	20,976
医業費用	19,982	20,533	19,169
給与費	10,644	10,846	10,033
材料費	4,077	4,221	4,116
減価償却費・資産減耗費	2,411	2,420	2,088
経費	2,784	2,954	2,859
研究研修費	66	92	72
介護老人保健施設費用	473	477	450
一般管理費	319	303	284
財務費用	678	716	714
その他経常費用	357	348	359
経常損益(A-B)	▲ 60	▲ 84	603
臨時損益(C)	▲ 275	▲ 147	▲ 204
当期純損益(A-B+C)	▲ 335	▲ 231	399

3 キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー(A)	2,051
医業等収入によるキャッシュ・フロー	16,129
運営費負担金収入によるキャッシュ・フロー	5,100
医業業務活動収入によるキャッシュ・フロー	186
人件費及び材料費によるキャッシュ・フロー	▲ 15,651
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,034
利息の支払額	▲ 679
II 投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲ 2,214
III 財務活動によるキャッシュ・フロー(C)	▲ 201
IV 資金減少額(D=A+B+C)	▲ 364
V 資金期首残高(E)	6,322
VI 資金期末残高(F=D+E)	5,958

4 行政サービス実施コスト計算書

(単位: 百万円)

科 目	金 額
I 業務費用	5,666
損益計算書上の費用	22,084
(控除) 自己収入等	▲ 16,418
II 引当外退職給付増加見積額	79
III 機会費用	4
IV 行政サービス実施コスト	5,749

(参考) 財務諸表の科目の説明

1 貸借対照表

固定資産

有形固定資産・・・土地、建物、医療用器械など
 無形固定資産・・・ソフトウェア、電話加入権など
 投資その他の資産・・・修学資金貸付金など

流動資産

現金及び預金・・・現金、預金
 未収金・・・医業収益に対する未収金など
 貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため回収不能見込額を引当
 医薬品等・・・医薬品、診療材料、貯蔵品の期末棚卸在庫
 その他・・・前払保険料、入学金や授業料の前払いなど

固定負債

資産見返負債・・・償却資産に充当した補助金等相当額
 長期借入金・・・県からの借入金
 移行前地方債償還債務・・・法人移行前に借り入れた地方債の償還債務額
 引当金(退職給付引当金)・・・将来支払われる退職給付に備えて設定される引当金
 リース債務・・・リース取引に係る債務

流動負債

1年以内返済予定長期借入金・・・・・・長期借入金のうち1年以内に支払期限が到達する債務
1年以内返済予定移行前地方債償還債務・・・・・・移行前地方債償還債務のうち1年以内に支払期限が到達する債務
未払金・・・・医業費用等及び器械・備品など償却資産に係る未払債務
1年以内支払予定リース債務・・・・・・リース債務のうち1年以内に支払期限が到来する債務
未払費用・・・・1年以内返済予定移行前償還債務及び長期借入金に係る未払利息
賞与引当金・・・・支給対象期間に基づき定期的に支給する役員及び職員賞与の引当金
その他・・・・預り金、仮受金など

純資産

資本金・・・・設立団体である県からの出資金
利益剰余金・・・・業務に関連して発生した剰余金の累計額

2 損益計算書

医業収益・・・・・・医業（入院診療、外来診療など）に係る収益
介護老人保健施設収益・・・・介護老人保健施設の営業活動に係る収益
運営費負担金収益・・・・高度医療、政策医療等に要する経費に係る県の負担金
その他の経常収益・・・・補助金収益、資産貸付収益など
医業費用・・・・・・医業（入院診療、外来診療等）に要する給与費、材料費、委託費、減価償却費、研究研修費など
介護老人保健施設費用・・・・介護老人保健施設の営業活動に係る費用
一般管理費・・・・・・本部組織に係る給与費、経費など
財務費用・・・・・・借入金の支払利息
その他の経常費用・・・・控除対象外消費税など
臨時損益
臨時損失・・・・・・固定資産の除却損、除却に係る費用

3 キャッシュ・フロー計算書

業務活動に係るキャッシュ・フロー
医業等収入によるキャッシュ・フロー
・・・・・・医業及び介護老人保健施設の営業活動に係る収入
運営費負担金収入によるキャッシュ・フロー
・・・・・・県からの運営費負担金に係る収入
医業業務活動収入によるキャッシュ・フロー
・・・・・・国、県等からの補助金、寄付金など
人件費及び材料費によるキャッシュ・フロー
・・・・・・人件費、医薬品等の材料費購入に係る支出
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー
・・・・・・上記以外の業務活動に係る収入、業務活動に係る支出
投資活動によるキャッシュ・フロー
・・・・・・固定資産の取得、除却に係る支出など
財務活動によるキャッシュ・フロー
・・・・・・長期借入れによる収入、移行前地方債償還債務の償還による支出など

4 行政サービス実施コスト計算書

業務費用
損益計算書に計上される費用から医業収益などの自己収入を控除したもの
引当外退職給付増加見積額
事業年度末に在籍する県からの派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除したもの
機会費用
県からの出資額を一定の利回りで運用した場合に想定される利息相当額等

IV 財務諸表の要点

1 財務諸表の概況

(経常収益)

平成 23 年度の経常収益は 21,749 百万円と、前年度と比較して 170 百万円増加しました。
主な理由は、次のとおりです。

- ① 医業収益が、前年度と比較して 325 百万円増加したこと
 - ・ 入院患者数は減少したものの、須坂病院で7対1看護基準を取得したこと、こころの医療センター駒ヶ根で新病院への移行に伴い施設基準の取得に積極的に努めたこと、こども病院で他病院との連携の取組などにより高度小児医療を必要とする患者の受入れが増加したことなどから一人当たり入院単価が大きく増加し、全体の入院収益が増加
 - ・ 外来収益が、患者数の増加や一人当たり単価の増加により増加
- ② 運営費負担金収益が、前年度と比較して 180 百万円減少したこと
 - ・ こころの医療センター駒ヶ根本館棟の改築が完了したことなどにより、平成 23 年度からは中期計画期間中の定額となったことから減少

(経常費用)

平成 23 年度の経常費用は 21,809 百万円と、前年度と比較して 833 百万円増加しました。
主な理由は、次のとおりです。

- ① 医業費用が前年度と比較して 813 百万円増加したこと
 - ・ 医療サービスの充実のため医療技術職員等の拡充を図ったこと、事務部門強化のため医事事務直営化を進めたこと、経営分析能力向上のため5病院すべてに診療情報管理士を配置したことなど、各病院の職員体制の整備に努めたことにより、給与費が増加
 - ・ 医事事務の直営化により医事事務委託料が減少
 - ・ こころの医療センター駒ヶ根の新病院完成、須坂病院、こころの医療センター駒ヶ根の電子カルテシステムの導入により減価償却費が増加
- ② 介護老人保健施設費用、一般管理費において職員体制の整備により給与費が増加したこと
- ③ 移行前地方債償還債務に係る支払利息の減少に伴い財務費用が減少したこと

(損益)

平成 23 年度の経常損益は▲60 百万円となり、前年度と比較して 663 百万円の減少となりました。

また、こころの医療センター駒ヶ根及び阿南病院の旧病棟等の解体費用等を臨時損失に計上したことから、臨時損益は▲275 百万円となり、その結果、当期純損益は▲335 百万円となりました。

(資産)

平成 23 年度末現在の資産合計は 38,373 百万円と、前期末と比較して 711 百万円の減少となりました。これは、須坂病院電子カルテシステム導入、こころの医療センター駒ヶ根整備事業(第2期工事)等に伴い有形固定資産が 2,115 百万円増加した一方、減価償却費が 2,467 百万円生じたこと、現金預金 が 364 百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

平成 23 年度末現在の負債合計は 38,003 百万円と、前期末と比較して 375 百万円の減少となりました。これは、建設改良事業による長期借入金が 2,134 百万円増加した一方、移行前地方債償還債務が 2,098 百万円、リース債務が 233 百万円、未払金が 195 百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

2 施設等投資の状況

(資本的収支状況)

(単位:百万円)

項 目		平成23年度 実 績 (a)	平成23年度 計 画 (b)	実績-計画 (a)-(b)	備考
収 入	長期借入金	2,134	2,506	▲ 372	
	その他収入	61	72	▲ 11	
	計	2,195	2,578	▲ 383	
支 出	建設改良費	2,072	2,487	▲ 415	
	うち 施設整備事業	489	903	▲ 414	阿南病院耐震化事業の年度割事業費の変更による事業費減
	うち その他建設改良事業	91	96	▲ 5	
	うち 医療器械等整備事業	1,491	1,488	3	
	貸付金	50	54	▲ 4	
	移行前地方債償還債務元金償還金	2,098	2,098	0	
	計	4,220	4,639	▲ 419	

(1) 主な施設整備事業(当該年度中に完了した整備事業)

こころの医療センター駒ヶ根整備事業(第 2 期工事) H23 決算額 468 百万円

(2) 主なその他建設改良事業

須坂病院 電子カルテシステムサーバ室電源工事
木曽病院 防災設備改修工事
こども病院 南・北棟電気機械室空調設備工事

(3) 主な医療器械等整備事業

須坂病院 電子カルテシステム
こころの医療センター駒ヶ根 電子カルテシステム
阿南病院 透析液製造装置
木曽病院 器具除染用洗浄器
こども病院 超音波診断装置、生化学自動分析装置